



武蔵石材新聞

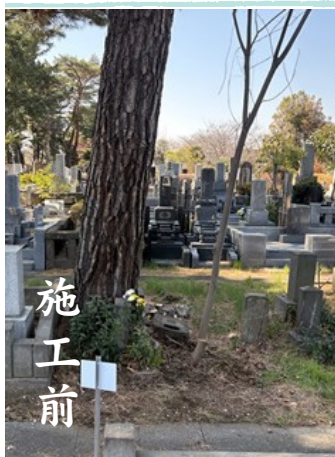
暑さも本格的になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

先月、青山霊園で、高さ20mほどもある松の木が植わっている墓所のお墓まいをしました。車両も近づけないため、木の伐採は空師の方にお願しました。空師(そらし)とは、重機やクレーンによる通常の作業ができない場所で伐採を専門に行う職人さんです。ロープやハーネスを駆使して木に登って行き、上の方から枝や幹を少しずつ分害して



伐採を行いました。

伐採後は土葬骨があるため、地面を2m程掘り下げながら根を取り除いていきました。切り株も大きく、あちこちに太い根っこが張っていて、とても大変な作業になりましたが、無事に更地にして返還することができました。

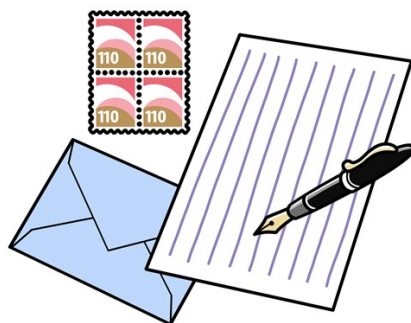


知っていますか? 7月の記念日

●7月23日は「文月ふみの日」です

1979年(昭和54年)に、郵政省(現:日本郵政)が郵便物の利用促進を目的として、「ふ(2)み(3)」の語呂合わせにちなんで毎月23日を「ふみの日」としました。7月は陰暦で「文月」(ふみづき)であることから、7月23日は特別に「文月ふみの日」とされています。

メールやSNSが主流の今だからこそ、久しぶりにペンを取ってみるのはいかがでしょうか。



■発行者: 有限会社 武蔵石材店
井岡 進 (いおかすすむ)

昭和48年12月 葛飾区新小岩生まれ
小松小、日大一中、日大一高、立正大
妻、娘(大2、高3、高1)の5人家族
(父母も元気です!)

所属: 本田消防団、葛飾区法人会
東京土建葛飾支部、新小岩商交会、
小松通り会会長

※学生時代、イタリア料理店でバイトしました。その経験で、今でもたまに家でピザを焼く(魚焼きグリルを使って!)のが趣味です。



(有) 武蔵石材店 TEL: 03-3651-0234
東京都葛飾区新小岩2-16-10



～お墓・仏事の三ニ知識～



★救世(ぐぜ)に彩色(さいしき)に月光(がっこう)・・・呉音とは？

普通「変化」は「へんか」、「文書」は「ぶんしょ」と読みますが、仏教や古い文書では「へんげ」「もんじょ」と読むこともあります。こうした違いには、漢字の音読みの一つである「呉音(ごおん)」と「漢音(かんおん)」が関係しています。呉音は、漢音より古い時代に日本へ伝わった読み方で、仏教の経典や寺院の言葉

に多く残りました。そのため、「救世(ぐぜ)」「月光(がっこう)」「利益(りやく)」のような仏教に関係する言葉や、「明星(みょうじょう)」のように、生活の中で定着した読み方も残っています。



仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

仏像にも見られる、お釈迦様の32の身体的な特徴を指す「三十二相」に無いものは次のうちどれでしょう？

- ① 全身が黄金色に輝いている
- ② 足が速い
- ③ 歯が40本ある

ヒント

「三十二相」は主に外見的特徴を指します。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。